

令和5(2023)年度事業報告書

—令和5年4月1日～令和6年3月31日—



学校法人 ミズモト学園

1 法人の概要

1 建学の精神と教育理念

■建学の精神 「心 技 知 友」

- 健全な心を養い技術を磨き 知識を広め 友を作ろう
- 「心」素直、反省、謙虚、奉仕、感謝、豊かな心を持つ
- 「技」優れた技術を修得して世界に羽ばたこう
- 「知」専門知識を極め、幅広い教養を育もう
- 「友」学友は生涯の宝である

■教育理念

- 「プロを目指すなら一流を目指せ」
- 他の人より優れた技術と知識を習得し、研究と努力を喜びとし、己の職業に誇りと生きがいを感じ、心身共に健全な人 これを一流のプロと言う
- 「人間の能力は、その人の思考と努力によって無限に高めることができる」
- 人は誰にでも図りしれない可能性を持っている、可能と思えば可能になり、不可能と思えば、その瞬間から不可能となる

2 法人の名称 学校法人ミズモト学園 静岡県浜松市中央区東田町36番8

3 学校法人の沿革

- 1973年 「水元クッキングスクール」を開校
- 1977年 「東海調理師専門学校」を開校
- 1984年 「学校法人ミズモト学園」を設立
- 1991年 東海調理師専門学校に「製菓科」を新設
- 1994年 「東海マリンアクティブ専門学校」を開校
「東海調理師専門学校」を「東海調理製菓専門学校」に改称
- 2000年 「東海マリンアクティブ専門学校」を「東海工科専門学校」に改称
「自動車整備学科」を新設
「東海調理製菓専門学校」を移転
研修レストラン「プティ・カザリス」を開店
- 2003年 東海調理製菓専門学校に「通信課程製菓製パン科」を新設
- 2005年 「浜松医療福祉専門学校」を開校 「介護福祉科」、「鍼灸科」を設置

- 2006年 浜松医療福祉専門学校に「歯科衛生士科」を新設
- 2012年 浜松医療福祉専門学校に「こども学科」を新設
- 2014年 「東海工科専門学校」を「専門学校東海工科自動車大学校」に改称
- 2015年 「東海こども専門学校」を開校
- 2016年 専門学校東海工科自動車大学校に校舎を増築
- 2021年 「浜松医療福祉専門学校」を移転し「東海歯科衛生士専門学校」に改称
- 2023年 ミズモト学園グループ創立50周年を迎える
- 2024年 東海調理製菓専門学校2号館を増築

4 設置する学校・学科等(令和5年5月1日現在)

(1) 東海調理製菓専門学校

静岡県浜松市中央区板屋町101番地の11

課程	分野	学 科	昼夜	修業年限	入学定員	総定員
専門	衛生	調理師科	昼間	1年	40名	40名
専門	衛生	調理技術科	昼間	2年	110名	220名
専門	衛生	シェフ・パティシエ科	昼間	1年	30名	30名
専門	衛生	製菓技術科	昼間	2年	80名	160名

(2) 専門学校東海工科自動車大学校

静岡県浜松市中央区中沢町80番14号

課程	分野	学 科	昼夜	修業年限	入学定員	総定員
専門	工業	二級自動車整備学科	昼間	2年	40名	80名

(3) 東海歯科衛生士専門学校

静岡県浜松市中央区東田町36番8

課程	分野	学 科	昼夜	修業年限	入学定員	総定員
専門	医療	歯科衛生士科	昼間	3年	40名	120名

(4) 東海こども専門学校

静岡県浜松市中央区東田町36番8

課程	分野	学 科	昼夜	修業年限	入学定員	総定員
専門	教育・社会福祉	こども学科	昼間	2年	40名	80名

(5) 学校法人ミズモト学園法人本部

静岡県浜松市中央区東田町36番8

5 役員概要(令和5年4月1日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別
理事長	水元 久人	常勤
理事	水元 重友	常勤
理事	井上 光典	非常勤
理事	太田 一夫	非常勤
理事	池端 昭男	非常勤
理事	大城 豊晴	非常勤
理事	鈴木 裕子	常勤
監事	岡田 一臣	非常勤
監事	中村 通	非常勤

6 評議員概要(令和5年4月1日現在)

氏名	常勤・非常勤の別
水元 重友	常勤
水元 三千子	非常勤
大城 豊晴	非常勤
伊藤 照子	非常勤
高瀬 敏雄	非常勤
伊藤 博	非常勤
楠本 高大	非常勤
鈴木 裕子	常勤
磯崎 直行	常勤
内山 貴夫	常勤
田中 智明	常勤
渡邊 美里	常勤
太田 豊彦	常勤
高橋 和宏	常勤
田中 康伸	常勤

7 教職員の概要(令和5年5月1日現在)

学校名	本務教員	兼務教員	本務職員	合計
東海調理製菓専門学校	12	21	3	36
専門学校東海工科自動車大学校	5	1	1	7
東海歯科衛生士専門学校	5	21	1	27
東海こども専門学校	5	15	1	21
合 計	27	58	6	91

8 学生の在籍者数 (令和5年5月1日現在)

学校名	在籍者数
東海調理製菓専門学校	247名
専門学校東海工科自動車大学校	46名
東海歯科衛生士専門学校	106名
東海こども専門学校	74名

2 事業の概要

1 東海調理製菓専門学校

- (1) ミズモト学園創立50周年記念事業として、東海調理製菓専門学校2号館を新築。
所在地/静岡県浜松市中央区東田町36番8 (鉄骨造・3階建)
演習室、レストラン実習室を備え、実践的実習を行う教育環境を充実させた。
- (2) ワイン教室をコンクール部専用の実習室に改修し、コンクール出場に取り組む学生の練習環境を整えた。
- (3) 校舎内のロッカー室を改修し、設備環境の整備を行った。
- (4) 学校行事において建学祭の一般公開、海外研修旅行の実施など、新型コロナウイルス感染症流行以前の状態で実施することを心掛け、教育効果や学生満足に繋がるように努めた。
- (5) 第61回技能五輪全国大会(西洋料理部門)に調理技術科2年生、佐藤直也が静岡県代表として出場し敢闘賞を受賞した。
- (6) 良質な実習授業の維持向上および教育環境の継続的な発展を可能とするため、学費の増額を行った。

2 専門学校東海工科自動車大学校

- (1) 第22実習場のエアコンを改修し、設備環境の整備を行った。

- (2) 学生の能力向上を目的としたスキルアップゼミを開催した。講座内容としては、ガラスコーティング、二輪整備、先進安全自動車のエーミング、エコカーカップ参戦、機械保全士資格の取得(合格率 100%)などを実施した。
- (3) 学生の技術向上を目的とした企業による技術セミナーを開催した。日産自動車、いすゞ自動車、日野自動車、スバル自動車などの企業が協力し、最先端技術などを学習した。また、卒業生講話もあり、職業意識の向上につながった。
- (4) 学生の技術向上を図るために各企業協力のもと、学生整備技術コンクールを開催した。
- (5) 教員の技術向上を目的とした企業講習会(トヨタ、日産)に2名参加をした。
- (6) 社会貢献を目的とし、国土交通省・関係団体が構成する「自動車整備士人材確保・育成推進協議会」へ協力し、高校訪問して自動車整備士の PR 活動に努めた。
- (7) 社会貢献を目的とした外部向けの労働安全衛生法に係る特別教育「電気自動車等の業務に係る特別教育」を本校で教員が実施し、各企業より9名が参加した。
- (8) 社会貢献を目的とした外部向けの講習会「電気の基礎知識」を静岡県自動車整備振興会浜松中支部の協力のもと、本校で教員が開催し、各企業より8名が参加した。
- (9) 静岡ダイハツ販売(株)より、エンジン(KF 型)を5台贈呈された。実習授業で使用する教材のバリエーションが増えたことで学生の技術向上につながった。

3 東海歯科衛生士専門学校

- (1) 国家試験に向けた学修習慣の定着に向けて入学後すぐから授業の受け方、自宅での学習方法等の講座を設け、授業まとめノートの提出を義務付けている。
- (2) 勉強に加え、コミュニケーション力を向上させるための校内外研修を行い、コミュニケーション力を段階的に向上させるアクションシートを活用した。
- (3) 同窓会システムに変わる卒後登録制度を開始し、卒業後の学びの継続や復職支援を行う基盤が出来た。

4 東海こども専門学校

- (1) 学校行事において、保育園児や卒業生を招待し交流や直接体験の場を設け、教育効果や学生満足に繋がるように努めた。
- (2) 全教員が分担して、実習指導と就職指導にあたり、就職率100%かつ、子どもたちに関わる就職先への就職率100%を2年連続で達成した。

5 法人本部

- (1) 令和5年度ミズモト学園学年歴に基づく4校合同での行事の企画運営を行った。
また、年3回(5月、12月、3月)開催の理事会・評議員会において、各議案の審議、承認、報告が行われた。
- (2) 学園創立50周年記念事業として新校舎建設(東海調理製菓専門学校2号館)を行った。

3 財務の概要

1 令和5年度 決算の概要

(1) 資金収支計算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(単位：円)			
収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	525,829,350	530,123,000	-4,293,650
手数料収入	5,466,100	5,429,400	36,700
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	45,940,260	40,695,760	5,244,500
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,823,586	5,754,396	-2,930,810
受取利息・配当金収入	1,110,645	1,232,137	-121,492
雑収入	3,181,719	37,527,051	-34,345,332
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	388,439,076	382,472,359	5,966,717
その他の収入	188,430,510	778,061,557	-589,631,047
資金収入調整勘定	-436,238,009	-449,268,580	13,030,571
前年度繰越支払資金	1,008,473,207	1,008,473,207	0
収入の部合計	1,733,456,444	2,340,500,287	-607,043,843
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	235,672,067	243,280,850	-7,608,783
経費支出	202,599,040	192,419,990	10,179,050
借入金等利息支出	760,000	759,949	51
借入金等返済支出	36,132,000	36,132,000	0
施設関係支出	441,800,000	438,944,000	2,856,000
設備関係支出	12,469,000	7,549,273	4,919,727
資産運用支出	18,240,000	18,240,000	0
その他の支出	172,878,160	847,604,143	-674,725,983
資金支出調整勘定	-10,800,000	-433,073,247	422,273,247
翌年度繰越支払資金	623,706,177	988,643,329	-364,937,152
支出の部合計	1,733,456,444	2,340,500,287	-607,043,843

(2) 事業活動収支計算書(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

				(単位:円)
	科目	予算	決算	差異
教育活動収入の部	事業活動収入の部			
	学生生徒納付金	525,829,350	530,123,000	-4,293,650
	手数料	5,466,100	5,429,400	36,700
	寄付金	1,045,000	1,074,330	-29,330
	経常費等補助金	45,940,260	40,695,760	5,244,500
	付随事業収入	2,823,586	5,754,396	-2,930,810
	雑収入	3,181,719	37,527,051	-34,345,332
	教育活動収入計	584,286,015	620,603,937	-36,317,922
	事業活動支出の部			
	科目	予算	決算	差異
人件費	235,672,067	243,280,850	-7,608,783	
経費	285,992,142	273,474,998	12,517,144	
うち、減価償却額	83,393,102	81,055,008	2,338,094	
教育活動支出計	521,664,209	516,755,848	4,908,361	
教育活動収支差額	62,621,806	103,848,089	-41,226,283	
教育活動外収入の部	事業活動外収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	1,110,645	1,232,137	-121,492
	その他教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	1,110,645	1,232,137	-121,492
	事業活動外支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	760,000	759,949	51
	その他教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	760,000	759,949	51
教育活動外収支差額	350,645	472,188	-121,543	
経常収支差額	62,972,451	104,320,277	-41,347,826	
特別収支	事業活動収入の部			
	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	0
	特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部			
	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	0	0	0
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	0	0
特別収支差額	0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額	62,972,451	104,320,277	-41,347,826	
基本金組入額合計	-497,059,560	-51,856,123	-445,203,437	
当年度収支差額	-434,087,109	52,464,154	-486,551,263	
前年度繰越収支差額	-672,080,473	-672,080,473		
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	-1,106,167,582	-619,616,319	-486,551,263	
(参考)				
事業活動収入計	585,396,660	621,836,074	-36,439,414	
事業活動支出計	522,424,209	517,515,797	4,908,412	

(3) 貸借対照表の状況

貸借対照表(令和6年3月31日現在)

(単位：円)			
資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	2,645,416,222	2,260,663,627	384,752,595
有形固定資産	2,453,238,478	2,086,725,883	366,512,595
土地	1,013,555,951	1,013,555,951	0
建物	883,141,216	941,942,870	-58,801,654
構築物	24,418,675	25,249,342	-830,667
教育研究用機器備品	60,384,911	70,362,098	-9,977,187
その他	471,737,725	35,615,622	436,122,103
その他の固定資産	192,177,744	173,937,744	18,240,000
流動資産	1,053,090,500	1,054,841,265	-1,750,765
現金預金	988,643,329	1,008,473,207	-19,829,878
その他	64,447,171	46,368,058	18,079,113
資産の部合計	3,698,506,722	3,315,504,892	383,001,830
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	33,006,419	70,325,579	-37,319,160
長期借入金	27,076,000	63,208,000	-36,132,000
その他	5,930,419	7,117,579	-1,187,160
流動負債	901,030,320	585,029,607	316,000,713
短期借入金	36,132,000	36,132,000	0
前受金	381,872,359	393,047,534	-11,175,175
その他	483,025,961	155,850,073	327,175,888
負債の部合計	934,036,739	655,355,186	278,681,553
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	3,384,086,302	3,332,230,179	51,856,123
繰越収支差額	-619,616,319	-672,080,473	52,464,154
翌年度繰越収支差額	-619,616,319	-672,080,473	52,464,154
純資産の部合計	2,764,469,983	2,660,149,706	104,320,277
負債及び純資産の部合計	3,698,506,722	3,315,504,892	383,001,830

(4) 財産目録(令和6年3月31日現在)

I	資産総額		3,698,506,722	円
	うち 基本財産		2,453,238,478	円
	うち 運用財産		1,245,268,244	円
II	負債総額		934,036,739	円
III	正味財産		2,764,469,983	円
	区 分		金 額	
	資産			
	1. 基本財産			
	土地		1,013,555,951	円
	建物		883,141,216	円
	構築物		24,418,675	円
	教具・工具・備品		70,877,186	円
	図書		18,800,387	円
	その他		442,445,063	円
	2. 運用財産			
	現金預金		988,643,329	円
	その他		256,624,915	円
	資産総額		3,698,506,722	円
	負債			
	1. 固定負債		33,006,419	円
	長期借入金		27,076,000	円
	その他		5,930,419	円
	2. 流動負債		901,030,320	円
	短期借入金		36,132,000	円
	前受金		381,872,359	円
	その他		483,025,961	円
	負債総額		934,036,739	円
	正味財産 (資産総額 - 負債総額)		2,764,469,983	円